

全国PTA広報紙コンクール 中山中学校が全国 第2位に



熱心に打ち合わせをする昨年の広報部のみなさん

(社)日本PTA全国協議会が主催する第28回全国小・中学校PTA広報紙コンクールで、中山中学校のPTA広報紙「ふれあい」が、全国第2位にあたる日本PTA全国協議会会長賞を受賞しました。

中山中のPTA広報紙は、県PTA広報紙コンクールでの最高賞受賞後(広報だいせん6月号掲載)、全国コンクールに出品されました。そして、応募総数6316校の中から、第2位

に選ばれるという快挙を成し遂げました。鳥取県からは県のコンクール上位9点(小学校5点・中学校4点)が出品されましたが、入賞は、中山中のみでした。

8月26日(土)第54回日本PTA全国研究大会みやざき大会で表彰式が行われ、昨年度の広報部長 澤田真美さんが広報部を代表して表彰状を受けとりました。おめでとうございます。

ハマナスの 周りも美しく

ハマナス自生地
クリーン作戦



雑草を丁寧に刈り取りました

7月15日(土)松河原のハマナス自生地でクリーン作戦が行われました。ここに咲くハマナスは、岩場に自生するものとして大変めずらしく、国の天然記念物に指定されています。年々雑草に覆われていく姿を懸念した中山町観光協会が10年前から毎年除草作業を行っています。

この日も鳥取県文化財保護委員の大谷正己さん(二本松)の指導のもと、中山町観光協会員、ボランティアなど19人が参加し、ハマナスの周りに生えている雑草を丁寧に刈り取っていました。

トウモロコシ の収穫体験



なかなか採れない～

町内の各保育所では、野菜づくりなどを通して食育活動に取り組んでいます。その一環として、7月27日(金)、上中山保育所の3歳以上の園児18人が、トウモロコシの収穫体験をしました。JA中山支部青壮年部(秋田拡美代表)が管理する畑で、毎年行なわれている行事です。

秋田さんが丁寧にトウモロコシの採り方を説明すると、園児たちはいつせいに畑に駆け寄り、手に持ちきれないほど収穫しました。この日のおやつは採れたてのトウモロコシ。おなかいっぱい食べました。

このほか保育所の園庭で、ナス、ピーマン、キュウリ、サツ

減反の田を借りて作ったトウモロコシ畑です。収穫体験で子どもたちには、農業の楽しさをまず知ってほしい。タヌキに突ったものから食べられたり、雑草を抜くのが大変だったことなど苦労話もしました。



JA中山支部青壮年部
秋田拡美さん

マイモなどを、園児たちが中心になって育てています。給食の食材として欠かせないものになっています。